

認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護サービス等の提供

早期診断・早期対応のための体制整備＜歯科医師・薬剤師の認知症対応力向上研修＞

歯科医師等による口腔機能の管理や薬剤師による服薬指導等を通じてこれらの専門家が高齢者等と接する中で、認知症の疑いがある人に早期に気付き、かかりつけ医等と連携して対応するとともに、その後も認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理や服薬指導等を適切に行うことを推進する。【新オレンジプラン抜粋】

平成28年度開始	歯科医師認知症対応力向上研修事業	薬剤師認知症対応力向上研修
実施主体	都道府県・指定都市(事業運営の一部を適切な事業運営が確保できると認められる関係団体等に委託することができる)	
研修対象者	各都道府県及び指定都市管内で勤務(開業を含む)する歯科医師	各都道府県及び指定都市管内で勤務(開業を含む)する薬剤師
標準カリキュラム	1)基礎知識(30分) 2)かかりつけ歯科医師の役割(90分) 3)連携・制度(90分) 計:210分	1)基礎知識(30分) 2)対応力(薬学的管理、連携)(90分) 3)制度等(90分) 計:210分
その他	・認知症歯科医療に精通した歯科医師等の協力の下行う。 ・研修受講者の募集に当たっては、各都道府県歯科医師会、関係団体等の協力を得て行う。	・認知症薬やその服薬管理に精通した薬剤師等の協力の下行う。 ・研修受講者の募集に当たっては、各都道府県薬剤師会、関係団体等の協力を得て行う。

【目標値】

歯科医師: 2020(平成32)年度末 22,000人
薬剤師: 2020(平成32)年度末 40,000人